



## プミポン前国王の葬儀終了に伴うタイ経済の動向

北陸銀行 国際部  
バンコク駐在員事務所  
中村 翔平

### 1. はじめに

2016年10月13日、タイのプミポン前国王が享年88歳で逝去されました。そして、昨年2017年10月26日に葬儀が執り行われ、昨年から約1年間続いていた服喪期間も終了しました。タイ国民から絶大な支持と尊敬を集め、「国家の父」と敬称されてきたプミポン前国王が逝去された昨年は、デパートなどのクリスマス商戦もなく、タイ国内のイベントや行事も見合わせ・延期となり、一時的に消費も冷え込みました。今年は、先日葬儀が終了し、服喪期間も明け、最近ではデパートのクリスマス商戦に向けた動きが活発になるなど、タイは日常の生活をとりもどしつつあると実感します。今回は、プミポン前国王逝去の服喪期間終了に伴うタイ経済の動向についてお伝えします。

### 2. プミポン前国王の葬儀について

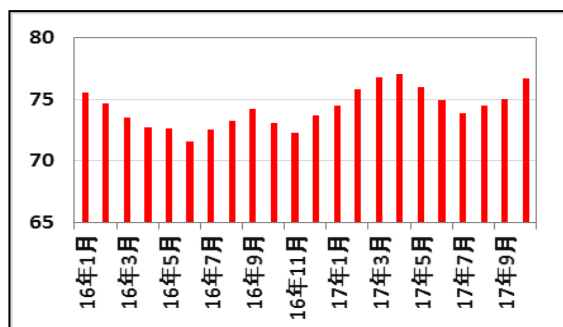
プミポン前国王の葬儀に関する一連の儀式は、2017年10月25日から29日までの5日間の日程で執り行われ、最も重要な儀式となる「火葬の儀」については、10月26日にバンコクの王宮前広場に建設された黄金色の火葬施設にて行われました。タイ国内の報道機関によると、今回の火葬のためだけに約10か月かけて作られた火葬場は、日本円で約17億円もの費用が費やされ、現在では観光地の一つとなっています。「火葬の儀」当日は、タイは祝日となり、多くの人々が献花に訪れることができるよう市内を走る鉄道やバスも無料で開放されました。コンビニエンスストアをはじめ多くの商業施設も休業となり、行き交う人は皆黒一色の喪服をまとっており、街全体が葬儀会場のような雰囲気にも包まれていました。



【「火葬の儀」当日、当行バンコク事務所オフィス近くの献花場。多くの人々が黒服を着用。：筆者撮影】

### 3. タイ国内の経済動向 ～個人の消費マインドは改善基調、観光業も堅調推移～

プミポン前国王の葬儀を迎えるにあたり、タイでは昨年崩御後に見られた消費活動の停滞が警戒されていましたが、葬儀の影響については限定的となり、個人の消費マインドは堅調に推移しています（図①）。また、タイの主要産業である観光業についても、来タイ観光客数が、過去最高を記録した前年を上回るペースで推移しています（表①）。



【図①】：タイの消費者信頼感指数の推移

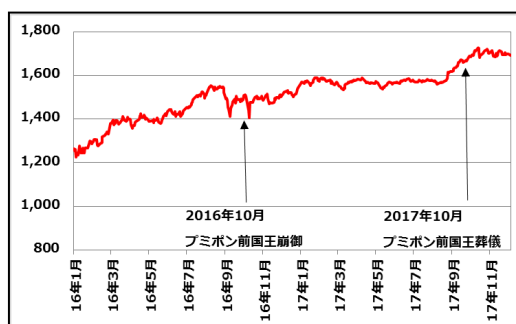
（出展：タイ商工会議所大学）

【表①】：来タイ観光客数の推移

2017年目標値 (2017年9月時点)	3,430万人 (2610万人)
2016年	3,253万人
2015年	2,992万人
2014年	2,481万人
2013年	2,655万人

（出展：タイ観光協会）

今後についても、これまで服喪期間のため見合わせとなっていた行事やイベントなどが通常化することで、経済活動の更なる活性化が見込まれ、こうした個人消費や観光業の回復傾向は継続することが予想されます。また、一年間の服喪期間におけるマーケットの反応についても大きな混乱もなく、タイの株式相場については、世界的な株高の影響もあり、堅調推移を続けています。



【図②】：タイの株式相場（SET指数）の推移

（出展：Bloomberg）

### 4. おわりに

プミポン前国王の葬儀はタイ全土にわたり壮大に行われ、改めて前国王の偉大さや国民の前国王を敬う気持ちの強さを実感させられる行事となりました。そして、約1年間の服喪期間が明けたことで、街の雰囲気も以前の明るさを取り戻し、経済も本格的に動き始めています。一方で、精神的支柱であった国王が亡くなり、民主化を求める声もあることから、再び政治的対立が生じることも予想されます。新たな歴史を刻んでいくタイの動向について、今後も注視していきます。

以上

＜ご注意＞文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
 〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
 ((株)人材情報センター内)  
 TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
 E-mail: info@chojo-hokugin.jp